

平成 29 年度 地域文化学（宮島学）

平成 29 年度の「地域文化学（宮島学）」は次のような内容でおこない、国際文化学科 2 年生を中心に 42 名の学生が受講しました。

1 授業内容

回	テーマ	担当
1	「地域文化学（宮島学）」について	大知 徳子
2	厳島神社と石見銀山	秋山 伸隆
3	宮島における戦争と平和	秋山 伸隆
4	平家納経の世界	西本 寮子
5	宮島でのフィールドワーク	
6	平清盛の経済施策と厳島神社	鈴木 康之
7	宮島にもたらされた陶磁器	鈴木 康之
8	厳島八景の成立と京の人々	柳川 順子
9	厳島神社の内侍	大知 徳子
10	厳島八景の成立と宮島を訪れた人々	柳川 順子
11	広島城下の商家・保田忠昌と厳島	西本 寮子
12	宮島と江戸文化①	高松 亮太
13	宮島と江戸文化②	高松 亮太
14	大聖院蔵「厳島図屏風」からみる宮島の人々	大知 徳子
15	宮島でのフィールドワーク	

2 フィールドワーク

(1) 5月21日のフィールドワークでは、学生が3グループに分かれ、各テーマに沿った調査をおこないました。

①室浜砲台の調査

宮島棧橋から約1時間かけて室浜砲台跡まで散策し、宮島の歴史とともに、明治期の要塞建築について学びました。

②清盛塚の調査

厳島神社の東にある「経尾経塚」の調査をおこない、立地の特徴から、この場所に経塚が造営された背景について検討しました。

③歌碑・句碑の調査

島内の歌碑・句碑・詩碑のうち3箇所をめぐり、刻まれている文字を書き留め、解読しました。また、訪れた場所で短歌を一首詠み、批評しあいました。

(2) 管絃祭フィールドワーク

管絃祭を見学しながら、観光協会のスタッフや宮島学園の教職員らとともに長浜神社に戻る御座船を迎えるための提灯1000個を作成し、観光客に配りました。